

質問回答

2015年1月5日

「ブラジル国北部地域穀物輸送網整備に関する情報収集・確認調査」

(公示日:2014年12月17日/公示番号:141059)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 p9	プロポーザルの評価表で、評価対象者のうち「輸送インフラ政策/行政制度」の分野の業務従事者にのみ「対象国又は同類似地域での業務経験」が評価対象項目に入っていません。通常、これまでの業務においては、対象国における業務経験が評価されることが殆どであったと記憶していますので、再確認させていただきたいと考えました。特に、行政制度やインフラ政策については、国によって異なるものと考えますので、これまでにブラジルでの業務に関わった者の方が、インフラ政策や行政制度についての知見もあり、当該業務もより効果的に遂行されると考えますが、上記のように判断されました理由をご教示ください。	当該分野においては、国内や他国での経験を持つ業務従事者の参加促進を図り、日本や他国での制度も参考に、ブラジルの政策/制度にかかる課題を分析していただくことを期待しています。よって、対象国での業務経験に絞ることをしていません。
2	業務指示書 別紙 Page3 「6.業務の内容 の(3)」	産出穀物の消費と輸出に関する今後20年の将来予測ですが、そのモデリングの複雑性(世界の人口・所得・畜産品の需要・為替・農地・バイオ政策などの推移予測)から、ブラジルでの多くの予測が今後10年程度のものが多いと理解しています。当該予測期間については、多少の柔軟性をもって調査できるという理解で宜しいでしょうか。	多少の柔軟性を持って当該予測期間を設定することは問題ありませんが、2035年ごろにブラジル人口が最大となり、国内消費量もピークを迎えるとの予測(ブラジル統計庁(IBGE)発表)から、ブラジル国内消費量も十分勘案した上で、当該予測期間の検討をお願いします。
3	業務指示書 別紙 Page 1 「2. 調査の目的」等	本件調査の範囲として陸運・鉄道・内陸水運・港湾などがありますが、貸与資料の内容も踏まえ、特に調査で時間を割くべき分野は内陸水運(水運に係るポート含む)及び港湾(イタキ港中心)という理解で宜しいでしょうか。	陸運・鉄道・内陸水運・港湾調査それぞれの調査優先順位はありません。ただし、港湾については、業務指示書に記載のとおり、イタキ港について重点的に調査を行う想定です。

通番号	当該頁項目	質問	回答
			陸運、鉄道、港湾については業務指示書に記載のとおり、ブラジル政府、その他機関が実施した調査も多く、文献調査でも一定の情報は得られると考えています。他方、内陸水運については既存調査資料が少ないため、調査に割かれる時間は大きくなると考えています。

以上